



S PICE
&
HER B

第102期 事業のご報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

エスビー食品株式会社



平素は格別のご高配を賜わり厚く御礼申しあげます。

ここに当社第102期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の事業の概況と決算のご報告を申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調となりましたが、消費税増税により個人消費の回復には弱さが残るとともに、円安進行に伴う物価上昇や海外経済の下振れ懸念もあり、先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、実質所得の伸び悩みなどによるお客様の節約志向から、厳しい環境が続きました。また、原材料価格上昇への対応や、食の安全・安心への取組みも求められました。

このような状況のなかで、当社および連結子会社（以下「当社グループ」といいます。）は、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の視点に立って、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。お客様に価値を感じていただけるような製品開発に取り組みますとともに、品質保証体制の充実やフードディフェンスの推進により、安全・安心な製品をお届けするための取組みを強化してまいりました。より多くのお客様にスパイスとハーブの魅力をお伝えするための施策としては、お客様視点での売場提案やメニュー提案など、きめ細かな営業活動に取り組みますとともに、広報・広告活動と連動した総合プロモーションを展開してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比21億10百万円減の1,218億66百万円（前期比1.7%減）となりました。利益面におきましては、全社的な経費削減活動により販売費および一般管理費は減少したものの、原材料価

格の上昇などにより売上原価率が増加したことから、営業利益は前期比3億90百万円減の40億30百万円（同8.8%減）、経常利益は前期比2億7百万円増の41億26百万円（同5.3%増）となりました。なお、法人税等の税率の引下げに伴う繰延税金資産の取崩しがあったことなどから、当期純利益は前期比62百万円減の19億92百万円（同3.0%減）となりました。

なお、当連結会計年度における設備投資は、製品の安全・安心対策、品質の安定・向上、生産性向上を目的とした生産設備の更新・改良などにより総額54億36百万円の投資を行いました。

食料品事業においては、当社東松山工場の生産設備の更新・改良を中心に36億64百万円、その他においては、株式会社ヒガシヤデリカの岩手工場の新設を中心に17億71百万円の設備投資を行いました。

また、当連結会計年度中に、増資あるいは社債発行による資金調達は行っておりません。

今後の見通しにつきましては、緩やかな景気回復の持続が期待されますものの、海外経済の動向など懸念材料もあり、先行き不透明な状況はしばらく続くものと推測されます。

食品業界におきましては、個人消費の本格的な回復までには、しばらく時間がかかるものと予想されるなかで、お客様の意識・要望の変化や、為替変動などによる原材料価格の動向への対応が求められるものと思われまます。

当社グループといたしましては、このような情勢のもと、次の施策に取り組んでまいりたいと考えております。

企業理念である「真の顧客満足の追求」とは、お客様の声にしっかりと耳を傾け、お客様にとっての価値を知り、それ

に応え続けることであり、お客様の視点に立った企業活動を続けることであります。また、コーポレートシンボルの「SPICE&HERB」は、スパイスとハーブを核とした事業活動を展開することを表しております。「お客様の声」を敏感に捉え、新しい価値を見いだす製品開発に努めますとともに、お客様にスパイスとハーブの魅力をお伝えし、身近なものとして楽しんでお使いいただけるような情報発信を推進してまいります。

品質保証体制につきましては、安全・安心な製品をお客様にお届けするため、当社が構築した品質保証システムを効果的に運用いたしますとともに、フードディフェンスに対する具体的な施策を展開してまいります。また、生産履歴に関する情報管理システムの充実も図ってまいります。

企業の社会的責任につきましては、すべてのステークホルダーの皆様から信頼され、選ばれる企業を目指して、法令遵守は勿論のこと企業倫理や社会貢献活動への取組みに最善の努力をいたしたいと考えております。そのなかで、自然の恵みであるスパイスとハーブをお客様に届ける当社グループといたしましては、環境保全活動を重要課題の一つと認識し、「環境基本方針」に基づき企業活動全般から生じる環境への負荷の低減に努めてまいります。

ダイバーシティ・マネジメントにつきましては、企業の持続的成長に向けての重要な戦略と考えており、具体的な数値目標を定めた「S&Bポジティブアクション」の達成に向けて、引き続き、女性の活躍を促進するための環境整備と積極的な機会付与に取り組んでまいります。

コーポレート・ガバナンスにつきましては、執行役員制度のもと、取締役と執行役員の役割を明確にすることで、経営

全般のスピードアップを図り、経営環境の変化に迅速かつ的確に対応してまいります。また、内部統制システムにつきましては、当社グループ全体での運用を徹底いたしますとともに、具体的な施策の充実も目指してまいります。

お客様のご要望が多様化するなか、当社グループといたしましては、企業理念「真の顧客満足の追求」のもと、お客様の深層心理を捉え、価値を感じていただける提案に、引き続き積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月



代表取締役社長

山崎 雅也

食料品事業

売上高 1,112億18百万円
前期比 2.5%減

● スパイス&ハーブ

売上高217億15百万円(前期比4億40百万円増)

洋風スパイスが堅調に推移いたしますとともに、手軽にスパイスを楽しめるシーズニングスパイスも、製品施策を実施したことなどから大幅に伸長いたしました。また、業務用香辛料製品についても、引き続き順調に推移いたしました。



● 即席

売上高305億92百万円(前期比4億81百万円増)

即席市場は依然として厳しい状況のなか、主力ブランドの「ゴールデンカレー」が、新製品「プレミアムゴールデンカレー」の奇もあり大幅に伸長いたしました。また、シチューやハヤシにおいて、新製品や既存製品のリニューアルなどの施策を実施いたしました。



● 香辛調味料

売上高289億42百万円(前期比10億24百万円増)

チューブ製品は、本生シリーズが前期実績を上回りますとともに、お徳用タイプも引き続きご好評をいただきました。また、中華製品では、「菜館」シリーズのシーズニングスパイスや「李錦記」ブランドの主力製品などが順調に推移いたしました。



● インスタント食品その他

売上高299億68百万円(前期比47億56百万円減)

レトルト製品は、「ホテル・シェフ」や「噂の名店」シリーズが伸びましたが、製品ラインナップの見直しなどにより前期実績を下回りました。また、パスタソースでは、「予約でいっぱいのお店」シリーズの充実など製品施策を実施いたしましたものの、前期売上拡大の反動がありました。

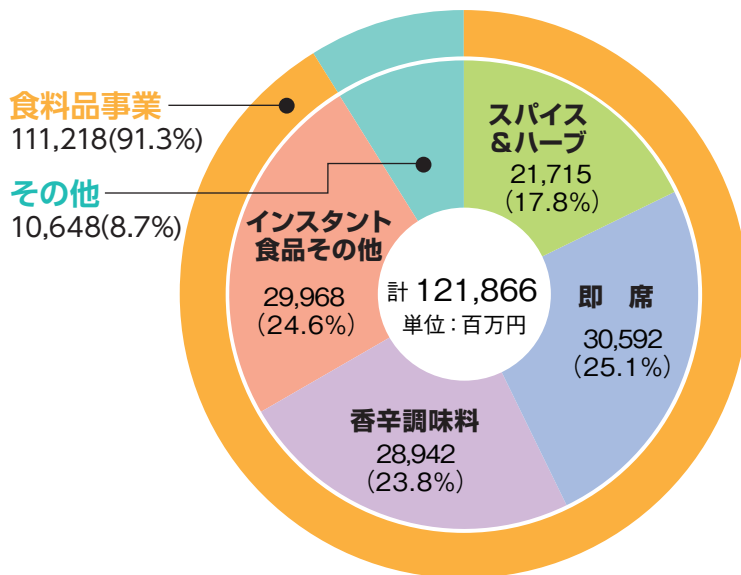


その他

売上高 106億48百万円
前期比 7.0%増

調理麺が好調に推移するなど、調理済食品が前期実績を上回りました。

連結売上高構成比



東松山工場に新棟竣工～末永く皆様に愛される商品づくりのために～

当社の主力工場である東松山工場の敷地内に、最新鋭の設備を導入した新棟を竣工し、美味しさと品質を守り続けてきた当社の原点ともいえる「純カレー」などに関して、「品質管理」と「安全・安心」をさらに強化した生産体制を2014年10月よりスタートしました。

当工場は、品質管理と衛生管理の2つの要素で信頼性の高い認証制度である『FSSC22000』を取得し、その管理手法に基づいて、品質管理、安全・安心体制の強化はもちろんのこと、セキュリティ強化や生産性向上、環境への配慮といった取組みを行っています。

また、東松山工場新棟で製造しております「赤缶カレー粉」は、1923年に創業者山崎峯次郎が日本で初めて国産カレー粉の製造に成功し、その後、さらなる改良を重ね、1950年に発売されて以来変わらぬ美味しさを守り続け、今年で発売65周年を迎えました。

このように長きにわたり食品業界を盛り上げてきたことが評価され、日本食糧新聞社主催の「平成26年度第33回食品ヒット大賞」にて「ロングセラー賞」を受賞しました。

今後も、「赤缶カレー粉」に代表される長く愛され続ける商品を日本中のお客様にお届けし、豊かな食文化の啓蒙と市場の活性化に取り組んでいきます。

※「赤缶カレーの製造」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。
 テキスト編 (<http://www.sbcurry.com/curry/powder.html>)
 アニメーション編 (http://www.sbcurry.com/curry/powder_pop.html)



「ゴールデンカレー」プロモーションの展開による市場活性化への取り組み

当社では、2016年に発売50周年を迎える「ゴールデンカレー」に関して、「黄金の香り」にスポットをあて、新製品やブランドサイトのリニューアル、TVCMなどのプロモーションを展開しています。

1. 「プレミアムゴールデンカレー」発売

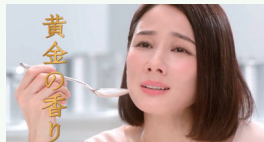
原料や製法から徹底的に「香り」にこだわり抜いた、「プレミアムゴールデンカレー」を本年2月に発売しました。

- (1) 特製の“香り立つ上質な純カレー”使用
- (2) “香り高い香味油”使用
- (3) 香りを閉じ込める“香りコーティング製法”採用

によりスパイシーでキレイのある「香り高い味わい」をお楽しみいただけます。

2. ブランドサイトやTVCMなどによる訴求

「黄金の香り」をキャッチコピーに、様々なメディアや、店頭でのPOPなどにより、さらなる「ゴールデンカレー」ブランドの浸透のみならず、即席市場の活性化も図っていきます。



※「プレミアムゴールデンカレー」をはじめ、「ゴールデンカレー」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。
 (<http://www.sbfoods.co.jp/golden/>)

「ダイバーシティ」の推進

当社では、「ダイバーシティ・マネジメント(注)」を、企業の持続的成長に向けての重要な経営戦略と考えています。2014年7月に「ダイバーシティ推進室」を設置し、さまざまな活動を通して働き方の見直しや社員一人ひとりの意識改革に積極的に取り組みながら、育児や介護との両立など、社員が安心してやりがいを持って働ける職場づくりを進めています。

現在では、居住地域の周辺保育所に関するきめ細かい情報や、保育所探しのコツ・ノウハウ等の提供、一人ひとりのニーズや状況にあったアドバイスをを行い、妊娠時から保育所に入所するまでを支援する「保活支援制度」の導入など、出産育児関連制度の充実や、小さな子供を育てながら働く社員が、仕事と家庭を両立し、安心して働き続けられる職場環境整備の一環として、本年4月板橋スパイスセンター内に、事業所内保育園「バジリック保育園」を開設するなどの、ワークライフバランス支援を行っています。

(注)ダイバーシティ・マネジメント…多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、企業価値の向上を目指す取り組み

※当社の「ダイバーシティ」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。

(<http://www.sbfoods.co.jp/company/diversity/>)



当社は、次世代育成支援対策推進法における「子育てサポート企業」認定の証である「くるみん」マークを、2014年5月に取得しました。

「おかずラー油」シリーズ、新たなコンセプトでリニューアル

定番調味料として家庭に定着した人気の「おかずラー油」シリーズに、新商品「乙女たちのおかずラー油」を加え、本年3月、装いも新たにリニューアルしました。

「乙女たちのおかずラー油」は、ニンニク不使用にもかかわらず、フライドオニオンとアーモンドで食感と旨みを付加し、「おかずラー油」シリーズの特徴である食べごたえはそのままに、いつでも食べられる「今までにない商品」をコンセプトにしており、発売前に行った調査においても「美味しい」「仕事前でも食べられる」などの高い評価をいただいています。

また、商品コンセプトや、具材のヘルシーさ、サクサク・カリカリ食感が乙女心をギュッとつかんでいることが評価され「FOODEX JAPAN 2015」の『FOODEX 美食女子』グランプリ2015においてグランプリを受賞しました。

このグランプリは、食に精通したモデル・女優やフードコーディネーター、栄養士などを含む20～40代の女性たちで構成される美食女子によって選ばれます。

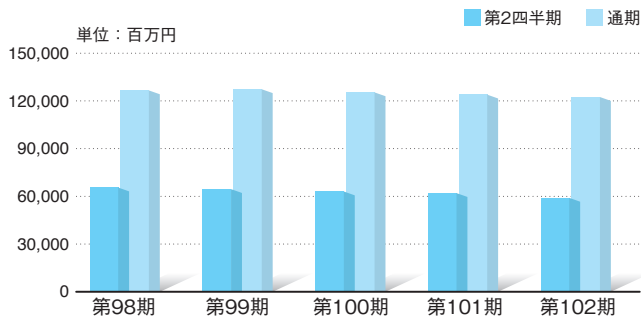
「具入りラー油」市場は、再び拡大傾向にあり、「おかずラー油」シリーズもお客様に高いご支持をいただいています。

今後も様々な視点から継続的な提案を行い、市場の活性化を図っていきます。

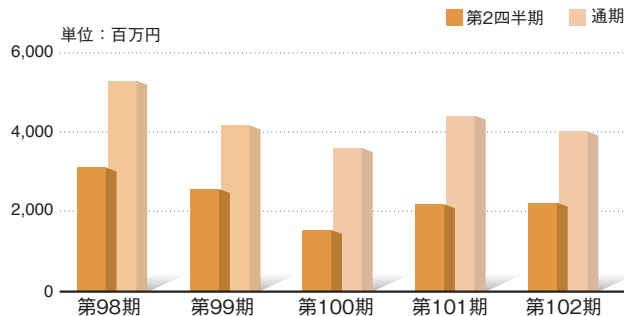
※「おかずラー油」に関する情報は、当社ホームページでご覧いただけます。
(<http://www.sbfoods.co.jp/la-yu/>)



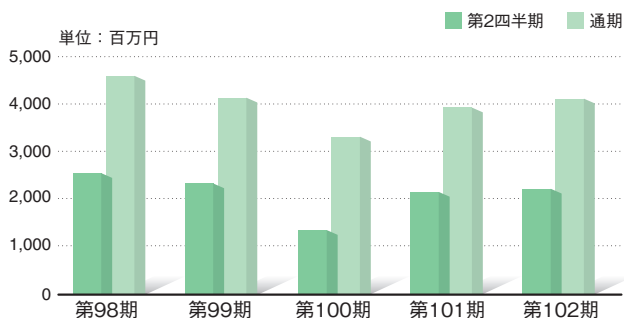
▶ 売上高



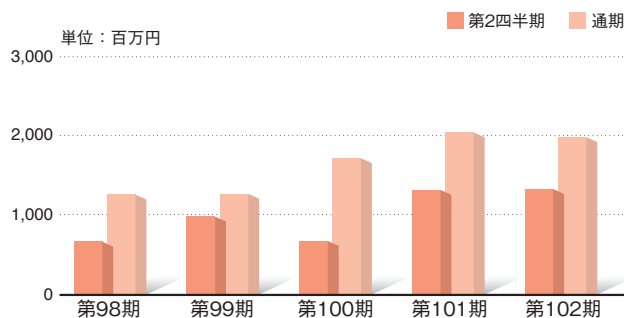
▶ 営業利益



▶ 経常利益



▶ 当期純利益



区 分	第98期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	第99期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)	第100期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	第101期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	第102期 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高 (百万円)	126,722	127,381	125,415	123,976	121,866
営業利益 (百万円)	5,352	4,178	3,604	4,421	4,030
経常利益 (百万円)	4,647	4,128	3,308	3,919	4,126
当期純利益 (百万円)	1,249	1,296	1,726	2,054	1,992
1株当たり当期純利益 (円)	35.93	37.31	49.72	295.86	289.66
純資産 (百万円)	26,916	28,118	30,214	31,484	33,548
総資産 (百万円)	94,970	97,142	98,578	100,541	102,903

(注)平成25年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施いたしました。第101期の1株当たり当期純利益は、第101期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成26年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成27年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	57,375	57,101
固定資産	43,165	45,802
有形固定資産	27,612	30,282
無形固定資産	532	511
投資その他の資産	15,020	15,008
資産合計	100,541	102,903
[負債の部]		
流動負債	48,145	45,871
固定負債	20,911	23,483
負債合計	69,057	69,354
[純資産の部]		
株主資本	34,677	35,218
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	27,719	28,985
自己株式	△122	△848
その他の包括利益累計額	△3,193	△1,669
その他有価証券評価差額金	1,324	2,321
土地再評価差額金	△3,839	△3,729
為替換算調整勘定	△1	52
退職給付に係る調整累計額	△677	△314
純資産合計	31,484	33,548
負債純資産合計	100,541	102,903

連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
売上高	123,976	121,866
売上原価	71,069	70,683
売上総利益	52,906	51,182
販売費及び一般管理費	48,485	47,152
営業利益	4,421	4,030
営業外収益	446	719
営業外費用	948	623
経常利益	3,919	4,126
特別利益	159	479
特別損失	235	807
税金等調整前当期純利益	3,843	3,798
法人税、住民税及び事業税	1,802	1,237
法人税等調整額	△13	569
少数株主損益調整前当期純利益	2,054	1,992
当期純利益	2,054	1,992

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	前連結会計年度 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,725	3,627
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,368	△4,807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,502	△476
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	93
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	879	△1,562
現金及び現金同等物の期首残高	17,462	18,341
現金及び現金同等物の期末残高	18,341	16,779

※財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成27年3月31日現在)

- 商 号 エスピー食品株式会社
- 本 社 所 在 地 東京都中央区日本橋兜町18番6号
- 設 立 年 月 日 昭和15年4月5日(創業大正12年)
- 資 本 金 1,744百万円
- 従 業 員 数 1,208名
- 主要な事業内容 スパイス&ハーブ(カレー粉、コショウ、洋風スパイスなど)、即席(ゴールデンカレー、ディナーカレー、とろけるカレー、とろけるシチューなど)、香辛調味料(本生 本わさび、おろし生しょうが、ねりからしなど)、インスタント食品その他(おでんの素、レトルトカレー、パスタソース、無菌包装米飯など)の製造販売

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 17,600,000株
- 発行済株式の総数 6,977,117株
- 単 元 株 式 数 100株
- 株 主 数 6,771名
- 大 株 主

株 主 名	持 株 数	出 資 比 率
峯 栄 興 業 株 式 会 社	609 千株	8.73 %
山 崎 兄 弟 会 社	600	8.60
株式会社三菱東京UFJ銀行	334	4.79
農 林 中 央 金 庫	334	4.79
株式会社東京都民銀行	244	3.50
セコム損害保険株式会社	176	2.53
大日本印刷株式会社	172	2.47
日本生命保険相互会社	162	2.34
第一生命保険株式会社	124	1.78
株式会社三井住友銀行	122	1.75

(注) 自己株式 204 千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

役 員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役会長	山 崎 明 裕	監査役(常勤)	榊 原 光
代表取締役社長	山 崎 雅 也	監査役(常勤)	寺 尾 隆一郎
代 表 取 締 役	荻 原 敏 明	社 外 監 査 役	葛 山 康 典
取 締 役 副 社 長	佐 藤 哲 也	社 外 監 査 役	松 家 元
取 締 役 首 席 執 行 役 員			
常 務 取 締 役	小 形 博 行	社 外 監 査 役	鶴 高 利 行
常 務 取 締 役	丹 野 好 生		
取 締 役 常 務 執 行 役 員	島 田 和 典	執 行 役 員	大 矢 肇
取 締 役 常 務 執 行 役 員	谷 脇 一 知	執 行 役 員	池 村 和 也
取 締 役 常 務 執 行 役 員	中 西 友 修	執 行 役 員	小 林 千 尋
社 外 取 締 役	谷 修	執 行 役 員	田 口 裕 司
		執 行 役 員	滝 口 義 明
		執 行 役 員	鈴 木 英 司
		執 行 役 員	小 島 和 彦
		執 行 役 員	石 井 修 二

主な営業所 (平成27年6月26日現在)

名 称	所 在 地	名 称	所 在 地
本 社	東 京 都	長 野 B U	長 野 県
八丁堀ハーブテラス	東 京 都	静 岡 B U	静 岡 県
板橋スパイスセンター	東 京 都	中 部 B U	愛 知 県
北 海 道 B U	北 海 道	北 陸 B U	石 川 県
北 東 北 B U	岩 手 県	関 西 B U	大 阪 府
南 東 北 B U	宮 城 県	四 国 B U	香 川 県
首都圏北部 B U	埼 玉 県	中 国 B U	広 島 県
首都圏東部 B U	千 葉 県	九 州 B U	福 岡 県
首都圏中央 B U	東 京 都	沖 縄 B U	沖 縄 県
首都圏西部 B U	東 京 都	上 田 工 場	長 野 県
首都圏神奈川 B U	神 奈 川 県	東 松 山 工 場	埼 玉 県
新 潟 B U	新 潟 県	宮 城 工 場	宮 城 県

(注) 上記表中「BU」はビジネスユニットを省略記載したものです。

カレー粉で作る基本のカレーライス

「S&B赤缶カレー粉」発売当時のクラシカルなレシピです。どこか懐かしい味わいをお楽しみください。



調理時間 45分

1食分当り 307kcal

材料(5人分)

豚薄切り肉(ひと口大)	200g
玉ねぎ(みじん切り)	中1/2個(100g)分
玉ねぎ(くし型切り)	中1個(200g)分
じゃがいも(乱切り)	大1個(200g)分
にんじん(乱切り)	小1個(100g)分
サラダ油	大さじ2と1/2
水	700ml
コンソメ(固形)	1個
塩	小さじ1
砂糖	大さじ1
【カレールウ】	
サラダ油	大さじ2と1/2
薄力粉	大さじ4
S&Bカレー粉	大さじ2

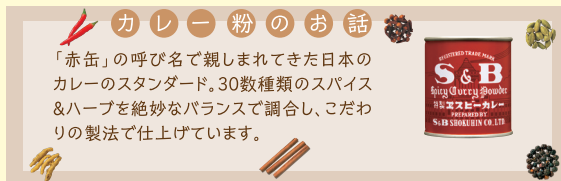
作り方

- 【1】まず、肉と野菜を炒めます。鍋にサラダ油大さじ2と1/2を熱し、みじん切りにした玉ねぎをきつね色になるまで炒めます(弱火20分程度)。
- 【2】豚肉を加えて炒め、肉の色が変わったら、くし型切りにした玉ねぎと、乱切りにしたにんじん、じゃがいもを加え更に炒めます(中火10分程度)。
- 【3】水・コンソメを入れ、沸騰したらアクを取り、鍋のふたを少し開けて煮込みます(弱火～中火20分程度)。
- 【4】【3】を煮ている間に、カレールウを作ります。フライパンにサラダ油大さじ2と1/2、薄力粉を入れ、焦がさないように薄いきつね色になるまで炒めます(弱火10分前後)。
- 【5】火を止めて、フライパンをぬれぶきんの上で冷やし、カレー粉を加えてよく混ぜ合わせてカレールウを作ります。
- 【6】【5】に【3】の煮汁をおたま1杯程度ずつ数回に分けて加え、均一にのぼしてから、煮込み終わって火を止めた【3】に移します。ルウをよく溶かし混ぜてから再び火をつけます。
- 【7】軽く煮込んで(弱火5分程度)とろみがついたら、塩、砂糖を入れ、味を調えます。

ワンポイント

薄力粉は、炒めているうちに油の温度が上がって焦げやすくなるため、後半は特に焦がさないように慎重に炒めましょう。
【5】では、温度を下げてからカレー粉を加えることで、カレー粉本来の香りを損なわずおいしく仕上がります。

お好みで仕上げの塩や砂糖の量を調整してください。



※「カレー粉で作る基本のカレーライス」に関する動画レシピは、当社ホームページでご覧いただけます。
(http://www.sbfoods.co.jp/recipe/movie/movie/recipe/currypowder_ph.html)

各種手続き について

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法・振込先の指定等**
株様の口座のある証券会社にお問い合わせください。なお、特別口座に株式を所有されている株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。
- **未払配当金の受取**
証券会社の口座の有無にかかわらず、株主名簿管理人である日本証券代行株式会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所（郵便物送付先）	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
（電話照会先）	☎0120-707-843
（ホームページアドレス）	http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html
同取次窓口	日本証券代行株式会社の支店および三井住友信託銀行株式会社の本店（「コンサルティングオフィス」「コンサルプラザ」「i-Station」を除く）
公告方法	電子公告により行います。（URL: http://www.sbfoods.co.jp/ ） なお、やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主優待制度	有

表紙のスパイスとハーブ

上段左から：バジル、カルダモン、ローズマリー、ブラックペッパー、イタリアンパセリ、サフラン
下段左から：唐辛子、セージ、クローブ、しそ、シナモン、スペアミント



植林木

この報告書は、森林資源を守る為に計画的な植林によって育てられた樹木を原料としたパルプを使用しています。